

案件概要表

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	東ティモール民主共和国
2. 事業名	パーツ大学における「住民ニーズに基づく保健実践」のための教育強化プロジェクト
3. 事業の背景と必要性	東ティモール民主共和国（以下、対象国）では、健康に関する客観的データの不備から、健康上の課題及びその変化が、中央・現場レベルともに十分に把握されていない。またプライマリ・ヘルス・ケアの現場における、住民ニーズを把握するための健康情報・データに関する知識の低さも課題となっている。そのような中、保健分野に多くの人材を輩出し、同国内で唯一、公衆衛生学部を有するパーツ大学（当時）では、Field Learning Practice (FLP) と呼ばれる学外実習に力を入れ、健康問題発見と、それに基づくプログラムの実施・モニタリングの教育を行なっている。FLP の重要性を認識する教員や卒業生から、FLP に関する教育の充実と、実践したプログラムの共有や蓄積などさらなる改善が望まれていた。その状況をふまえ、パーツ大学公衆衛生学部の教員および同学部学生を対象に、「学外実習を利用して、住民ニーズに基づく保健実践のための教育を実施する能力が高まる」ことを目標として本事業を実施する。
4. プロジェクト目標	パーツ大学公衆衛生学部が、学外実習を利用して、住民ニーズに基づく保健実践のための教育を実施する能力が高まる
5. 対象地域	ディリ市（パーツ大学）ならびに学外実習地
6. 本事業の対象となる人々（ターゲットグループ）	パーツ大学公衆衛生学部の教員（35名）、および学生（1学年400名）
7. 生み出すべきアウトプット及び活動	<p><アウトプット></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. プロジェクトと学外実習教育の連携体制が整い、プロジェクトの知見が学内に共有される 2. 公衆衛生学部教員に保健データを活用する知識と技術が蓄積される 3. 公衆衛生学部教員による学外実習を通じて保健データに活用に関する教育が実施される <p><活動></p> <ol style="list-style-type: none"> 1-1: プロジェクト運営委員会を立ち上げる 1-2: プロジェクト運営委員会を開催する 1-3: プロジェクト運営委員会を拡大開催することにより、プロジェクトで蓄積した知見が共有される 2-1: アセスメントの実施により保健データに関する学生の知識と技術の現状を把握する 2-2: 日本で地域保健データの活用と教育実践方法を学ぶ 2-3: 保健データを授業に活用するための教材を試作する 2-4: 保健データを分析した結果や活動を地域住民やステークホルダーに合わせて効果的に伝える方法を公衆衛生学部教員が習得する 3-1: 2-3 で作った教材を学内授業で活用する 3-2: 2-3 で作った教材を学外実習で活用する 3-3: 2-4 で学んだ方法を活かして、学外実習の成果を冊子化する 3-4: 3-3 で作成した冊子を地域住民やその他のステークホルダーに配布する 4-1: 東ティモールでのプロジェクトに関する広報活動 4-2: プロジェクトに関する日本での広報活動・報告会 4-3: プロジェクトに関する日本の大学や高校等での講演活動
8. 実施期間	（西暦）2020年9月～2023年8月（3年0ヵ月）
9. 事業費概算額	10,832千円
10. 事業の実施体制	日本側は一般社団法人 Bridges in Public Health よりプロジェクトマネージャー、国内調整員、外部有識者、現地側はカウンターパートのパーツ大学が中心となって進める。またパーツ大学の卒業生から常勤の調整員を現地に配属し、連絡調整にあたる。
II. 提案団体の概要	
1. 団体名	一般社団法人 Bridges in Public Health
2. 活動内容	国内外での地域保健活動に寄与する人材の育成と派遣 医療・保健・福祉・教育関連団体とのネットワーキング